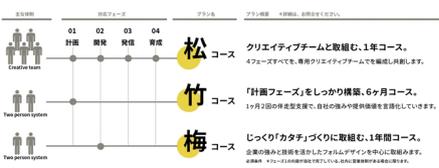


株式会社カブ・デザイン

デザインの視点から、あなたの「製品・商品」開発に伴走します。

<p>KaB DESIGN INC.</p>  <p>「デザイン」の視点で あなたの「想い」に、伴走します。</p> <p>カブ・デザインは東京都足立区を拠点に「製品・商品のデザイン開発」に特化したプロダクトデザイン事務所です。</p> <p>私たちの専らしは、モノや情報に溢れ、多くの企業は不確実性が高い社会の中で経営的に難しい状況に直面しています。そんな状況でも「自社商品」の開発を進める人は、まさに人里を駆け回る「想い」がある人だと思います。私たちは、その「想い」に共感し、共に解を模索する、クリエイティブパートナーです。</p> <p>株式会社カブデザイン</p>	<p>KaB DESIGN INC.</p> <p>あなたの「想い」からはじまる 「自社商品」開発スキーム。</p> <p>自社商品を開発したい想いはあるけれど、「デザイン」を自分事にするには難しいと感じている人は多いのではないでしょうか。カブデザイン自身が、自社商品を開発する際に、着手した「4フェーズ16プロセス」は、「デザイン」を日常の業務に組み込んで活用できるように、クリエイティブ業務はもとより「管理会計」「在庫管理」「生産管理」などの業務とも連携して活用できることも「デザイン」が自分事になる特徴のひとつです。</p> 
<p>「想い」からはじまる「自社商品」開発スキーム</p> <p>01 計画 フェーズ</p> <p>プロセス NO. 主な成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 01- 発注の依頼 02- 企画の立案 03- 企画の承認 04- 企画の決定 <p>70% : 30%</p> <p>70% 計画 (70%) 開発 (30%) 開発 (30%) 開発 (30%)</p> <p>開発は開発している「自社商品」開発スキーム「事業計画の進捗の中期報告」</p> <p>自社を再認識し、提供する「想い」を「価値」に。</p> <p>主な特長型支援の内容</p> <p>「自社商品」事業の現状は、「01計画」にかかっていると言っても過言ではありません。事業計画でいけば「計画」フェーズが全体の70%、企画の自分分析をデザイナーが併走し、事業の視点で共に、明日の糧をつくる「想い」を「価値」に、練り上げます。</p> <p>KaB DESIGN INC.</p>	<p>「想い」からはじまる「自社商品」開発スキーム</p> <p>02 開発 フェーズ</p> <p>プロセス NO. 主な成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 05- 開発の開始 06- アイデアの立案 07- アイデアの決定 08- アイデアの決定 <p>「価格」は「価値」を現わす デザイン表現のひとつです。</p> <p>主な特長型支援の内容</p> <p>商品を作成する。資材・材料・製造方法・生産量等が変われば「フォルム」の解も変わります。「自社商品」はどのような「価値」を実現しようとするか、情報の価値、上げ売値、等を確認し、収益化できるポイントも、デザイナーと共に探ります。</p> <p>KaB DESIGN INC.</p>
<p>「想い」からはじまる「自社商品」開発スキーム</p> <p>03 発信 フェーズ</p> <p>プロセス NO. 主な成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 09- 開発の開始 10- アイデアの立案 11- アイデアの決定 12- アイデアの決定 <p>「価値」を伝える 「世界観」をデザインする。</p> <p>主な特長型支援の内容</p> <p>ヒトは受けとる情報のうちの約80%を「視覚」が占めることは知られているところです。そして、その情報を把握する時間は、数秒と置かれています。そのことは、私たち自身も体感している事実だと思えます。同時に、商品の良さを伝える、命「価値」を伝える「世界観」はなくてはならないです。私たちデザイナーは、企業の想いを共有し、第一印象で伝える「世界観」を作り上げます。</p> <p>KaB DESIGN INC.</p>	<p>「想い」からはじまる「自社商品」開発スキーム</p> <p>04 育成 フェーズ</p> <p>プロセス NO. 主な成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 13- 開発の開始 14- アイデアの立案 15- アイデアの決定 16- アイデアの決定 <p>「商品」を、届けた後も 育てるコミュニケーション。</p> <p>主な特長型支援の内容</p> <p>「自社商品」開発を事業の視点で考えた時、継続的に情報を発信しつづけて、未来のお客様にも届けていくことが大切だということも、体感している感覚ですが、「自社商品」になると、継続的に情報発信していくこと、常に「価値」を届けていくこと、感じることがあります。私たちデザイナーは、企業のアクションを外部の目線で客観的に判断し、クリエイティブな視点から伴走支援を行います。</p> <p>KaB DESIGN INC.</p>
<p>KaB DESIGN INC.</p> <p>デザインを取り入れて「自社商品」を開発したい企業むけて 3つの伴走支援型のデザインサービスプラン。</p>  <p>松 コース クリエイティブチームと取組む、1年コース。 フェーズすべてを、専任デザイナーチームで継続して実施します。</p> <p>竹 コース 「計画フェーズ」をしっかりと構築、6ヶ月コース。 1ヶ月2回の伴走支援で、自社の強みや課題を言語化しています。</p> <p>梅 コース じっくり「カタチ」づくりで取組む、1年間コース。 企業の強みや課題を踏まえたフォルムデザインを中心に取組みます。 ※お問い合わせは03-5831-5861</p>	<p>KaB DESIGN INC.</p> <p>「想い」からはじまる「自社商品」開発</p> <p>まずは、お問合せください。</p> <p>メール info@kab-design.jp TEL 03-5831-5861</p> <p>松竹梅 資料のご請求</p> <p>開発スキーム「4フェーズ16プロセス」に関するお問合せ</p> <p>その他 デザイン全般に関するお問合せ</p> <p>カブ・デザインの業務はこちらからどうぞ https://kab-design.jp/works/</p>

 <p>売りたい</p>	<p>松・竹・梅、3つのコースを中心にした 「企業むけ・自社商品開発の伴走型支援」</p>
 <p>買いたい</p>	<p>連携を実施した企業から商品開発における「要素技術」</p>
 <p>連携したい</p>	<p>商品開発において、得意領域がある企業と「アライアンスパートナー」として連携を検討したい</p>

企業情報

 <p>所在地</p>	<p>東京都足立区栗原1-24-17 福澤製作所2階</p>
---	--------------------------------

 創業	2009年 1月
 従業員数	5人以下
 年商	5千万円以下
 業歴	10年超30年以内
 URL	https://kab-design.jp/
 当社の強み	<p>私たちの強み</p> <p>①私たち自身が2つのプロダクトブランドを運営し、提唱している開発スキーム「4フェーズ・16プロセス」をリアルに実践し、経営的な実績をあげている。</p> <p>②業種業態、規模の大小問わず、企業に対しての「デザイン開発」の実績が多数ある。</p> <p>③カブ・デザイン全員が「デザイン開発」への目的意識をもち主体的に行動できるメンバー。</p>
 主力の商品・業務・サービス	<p>松コース・クリエイティブチームと取組む、1年コース。</p> <p>竹コース・「計画フェーズ」をしっかりと構築、6ヵ月コース。</p> <p>梅コース・じっくり「カタチ」づくりに取組む、1年間コース。</p>